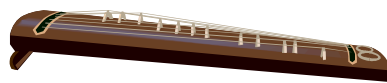


和楽器の音色 箏の奏法を学ぶ



日本の伝統文化、音楽に触れる機会として、音楽の授業では富澤恵子さん、遠山千冬さんを講師にお招きし、『箏の学習』を3日間実施しました。文化箏というやや小型のものではありますが、奏法等は同じように学べる楽器です。

和楽器でも青龍太鼓や横笛は、青龍祭で身近に感じるものですが、箏（日本では琴と呼ばれている）の演奏法や、独特な音色は普段なかなか体験することができないと思います。右手の指3本に爪をつけて13本の弦を弾いて響いてくる音色は、最初はなかなかしっかりと出すことが難しく、指にはめた爪の痛みの方が気になる生徒もみられました。しかし、右手の奏法だけでなく、3日間のご指導を一生懸命聞き、練習を重ねると、左手の奏法も加わり、何とか一曲演奏ができるようになります。1年生「荒城の月」2年生「さくら変奏曲」3年生「さくら変奏曲 Ver 2」を演奏し、最終日には2パートに分かれて合奏をすることもできました。

学習を終えての感想では、「難しいと思っていたが、最後は弾くことができ良かった。また来年もやりたいです。」という声が多かったです。日本の音楽文化の伝承も守っていきたいと思います。

